

医科学から
読み解く
西洋画家の物語
～第1回～

ターナーとモネが 描いた大気汚染

川崎市川崎区 谷本 哲也

産業革命の煤煙を美しい夕景として描いた二人の巨匠。科学研究が明かした、名画に記録された環境汚染の真実。現代の気候変動問題と健康への示唆を読み解く（毎月1回連載）。



クロード・モネ『サン＝ラザール駅』、1877年、オルセー美術館（事務局撮影）

印象派は1860年代にフランスで始まった。産業革命による都市化と新しい絵画技術の発展、そして鉄道交通網の普及により、画家たちが屋外制作を行いやすくなったことが背景にあった。印象派は自然の光を追求めた画家たちの運動とされるが、彼らが見た光そのものがすでに、人類の手によって人工的に変質していたとしたら。近年

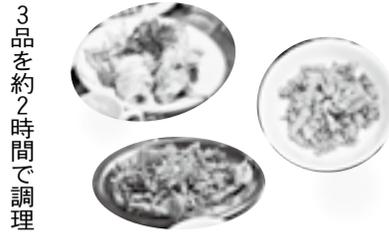
の研究は、産業革命期のターナーとモネの絵画を気象観測データとして読み解くユニークな手法で、心血管系疾患や発癌に影響を与える大気汚染の真実を明らかにした。印象派の先駆的存在ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー（1775-1851）と印象派の巨匠クロード・モネ（1840-1926）は、それぞれイギリスとフランスで活躍し、光と色彩の画家として有名だ。だが彼らの描いた黄昏の都市風景には、当時急増していた石炭燃焼由来の смог（硫酸塩やすす）が紛れ込んでいた。研究者たちは、ロンドンやパリの都市部を描いた約100点の作品から「コントラストの弱まり」、「輪郭のぼやけ」、「白色度の上昇」と

いった要素を数値化し、これらの変化が当時の気象データや石炭使用量と一致することを突き止めた。興味深いのは、この「大気の濁り」が単なる風景描写ではなく、画家の審美眼や技術の変化とも呼応している点だ。ターナーは晩年になると、夏目漱石も言及したように抽象化された光と霧の世界へと踏み込んでいく。モネもまた、ロンドンのテムズ川やパリのサン＝ラザール駅に立ちこめる蒸気や煙を、あたかも臍げな詩のように描き続けた。芸術的な革新と思われ、たその筆致は、実のところ、汚染された大気を透かして見た現実の記録でもあったのだ。

無論、ターナーやモネが意識的に大気汚染を描いたわけではないだろう。だが、

2026年3月1日の随時改定で告示価格が変更される品目

名称	2025年12月 随時改定 告示価格(円/g)	2026年3月 随時改定 告示価格(円/g)
歯科鑄造用14カラット金合金インレー用 (JIS適合品)	13,287	15,991
歯科鑄造用14カラット金合金鉤用 (JIS適合品)	11,978	14,682
歯科用14カラット金合金鉤用線 (金58.33%以上)	12,073	14,777
歯科用14カラット合金用金ろう (JIS適合品)	12,062	14,766
歯科鑄造用金銀パラジウム合金 (金12%以上JIS適合品)	3,802	4,779
歯科用金銀パラジウム合金ろう (金15%以上JIS適合品)	5,435	6,446
歯科鑄造用銀合金第1種 (銀60%以上インジウム5%未満JIS適合品)	207	262
歯科鑄造用銀合金第2種 (銀60%以上インジウム5%以上JIS適合品)	232	287
歯科用銀ろう (JIS適合品)	261	293



3品を約2時間で調理

「みんなの料理教室」 クリスマスの イタリア家庭料理を学ぶ

文化庁は12月13日、横浜あり、子ども4人の元気な市西地区センターにて「みんなの料理教室」を開催。定員いっぱい16名が参加した。親子での参加も2組

参加記

未知との遭遇 —料理の世界

茅ヶ崎市 安久 正哲

ある日、クリニックに料理教室のお誘いのチラシが来た。神奈川県保険医協会からだった。深く考えず参加した。親子での参加も2組



親子で初参加



参加者全員で記念撮影

「みんなの3品。細見氏は、1品ずつ作ると時間がかかるため、3品を同時進行で作る手順を指導。参加者は4班に分かれて約2時間で調理を行い、イタリアの家庭的なクリスマスの味を堪能した。以下、当日の参加者から感想が寄せられたので掲載する。

私も同様である。細見先生の指導の下、イ

最高の趣味になると確信し

文化部 写真教室 主役目立たせるプロの技

文化庁は12月6日に写真教室を協会会議室で開催。会員など6名が参加した。写真教室は、会員やご家族、会員医療機関で働く従業員などを参加対象とし、自身の旅行先や日常の街並みなど、撮影した作品を持ち寄って、講師の榎原俊寿氏（二科会写真部・プロ写真家）に講評していただくスタイルで実施している。今回はプリントやデジタルデータなど60枚ほどの作品が披露された。



当日の様子

講評で榎原氏は主役をいかに目立たせるか、分かりやすく見せるかについて強調。廃線跡のトンネルを写した作品では、暗闇の中でレールを目立たせるため外光を反射させるという発想を伝授。レイアウトについても見せたい部分に目を向かわせるために、邪魔になるものや、冗長な空などを大胆に削っていくアドバイスがされ、参加者はプロの技を真剣に聞き入った。



歯科 3月随時改定 鑄造用金パラ9777円の引き上げ

1月16日に中協総会が開催され、3月1日付での歯科用貴金属価格随時改定が承認された。歯科鑄造用金銀パラジウム合金（金12%以上JIS適合品）については25.7%の引き上げ、具体的には3千802円/gから4千779円/g（30g換算11万4千60円から14万3千370円）に引き上げられることになる（前々回9月随時改定及び前回12月随時改定も引き上げ）。金の価格の急騰により、前回12月の随時改定で2022年7月随時改定時の3千715円/g（30g換算11万1千450円）を幅を上回る告示価格が示されている。歯科鑄造用14カラット金合金と銀合金も同様の改定が、今回は大幅に「引き上げ」と後掲載する予定。

告示価格変更内容については、左表を参照いただきたい。なお、今回随時改定に伴う歯冠修復・欠損補綴の関連点数改定の詳細は今後の掲載する予定。